

■作/青木亮二(SEG)
■画/うずは



わたしはリョウ、まじょまじょよ…
みんなは、今年の夏は海にいったかじり…
わたしは、つる「うつかり」してて、
海にいきそこのねりやったのよ。
なにか忘れてるなあ、とは思っていただけ、
まさか、海にいくのを忘れちゃうなんて、
まだ私も未熟よね。

ちょっとじょんぱりしてた、
そんなとき
「確かに、夏の間に一度も海にいかないのは、
よろしくありますわね」「うつかり」とも期待あふれる
ことを言ってくるの…
これは、もしかして…

ああ、そういうことね…
おおばーばが乗るのは「波」。
サーフィンを楽しむ、ってことね！
偉い魔女、だけあって、
ばーばの波乗りテクニックは
さすがのものね！
くずれそうでくすぐれない、
大きな波を豪快に制覇していくの…
ついでいくわたしも
スリル満点だったわ！

「たまには、徹底的に海を楽しみましょ！」
サングラスをかけたおおばーばが言つと、
連れていかれたのは、
オーストラリアという國の街、
ゴールドコースト。
「北半球の夏は
南半球の夏は

これからですわ！」

ビーチパラソルをたてて、荷物をおいて、
そうそう、荷物の番は、ヘビさんたちに
おねがいしましょ！
「リョウちゃんは乗れないでしようから、
ほつきでわたしにひつじてりっしゃじ
え？ ほつきにならわたしでも乗れるけど、
さつそく、ビーチにててみましょ…

「たまには、徹底的に海を楽しむたま、
気合たっぷりのおおばーばに

連れていかれたのは、
オーストラリアという國の街、
ゴールドコースト。
「北半球の夏は
南半球の夏は

これからですわ！」

サングラスをかけたおおばーばが言つと、
連れていかれたのは、
オーストラリアという國の街、
ゴールドコースト。

「たまには、徹底的に海を楽しむたま、
気合たっぷりのおおばーばに

連れていかれたのは、
オーストラリアという國の街、
ゴールドコースト。
「北半球の夏は
南半球の夏は

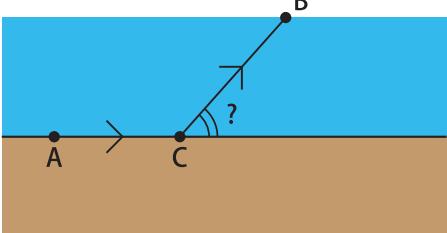
これからですわ！」

サングラスをかけたおおばーばが言つと、
連れていかれたのは、
オーストラリアという國の街、
ゴールドコースト。



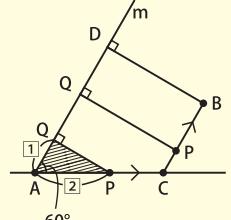
Q ★★★★★ もんだい おおばーばの問題

右の図の直線ACを「波打ち際」、青くぬられた部分を「海」に見立てましょう。ライフガードが点Aから、点Bにあるブイ(これを、おぼれている人の場所と見立てましょう)までなるべくはやくいくルートを考えます。ただし、直線AC上は、海の中よりも2倍はやく進めるものとします。最速のルートは図の折れ線で、角度は30°、45°、60°、90°のうちのどれになります。いったい何度でしょうか。理由もつけて答えてください。



A もんだい 問題の解答

正解は60°です。図のように、直線ACと60°の角を成す直線mを補助線に引きます。この直線上に、折れ線上の点P(ライフガードの位置)から図のように垂直に線を引き、交わった点をQとしましょう。図の斜線をつけた直角三角形は、三角定規の形ですから、2つの辺の長さの比は2:1となります。そこで点Pの動きを、それに伴ってM上を移動する点Qの動きに読み替えて考えましょう。よって、点Pが直線AC上を速さ②で進むとき、点Qは直線m上を速さ①で進むことになります。また、点Pが直線CB上を速さ①で進むとき、直線CBとmが平行のときは、点Qも速さ①でm上を動くことになりますが、そうでない場合は、Pの進む距離よりもQの進む距離の方が短くなるので、点Qの速さは①を下回ることになります。点Pが点AからCに進み、Bにたどりつくとき、Qは点Aから点Dまで進むことになりますが、最短でQがDにたどりつくときは、Qの速さは常に①です。よって、最短ルートにおいては直線mと直線CBが平行となる、というのがその理由です。



じぶつしょうかい 人物紹介



リョウちゃん



おおばーば
(本名はセツコ)

未熟な魔女「まじょまじょ」を卒業するために日々奮闘中の、どこかおちよこちよい魔女。最近は、すこしずついろいろな魔法を使えるように。目の前のものをかわいいへビに変えるのが特技。

手厳しさもあればおおらかでやさしいところもある、なぜかリョウちゃんとどきの合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。